

〈東文研・ASNET共催セミナー〉

# 鵜飼い鑑賞のテクニック (入門編)

日本では1300年以上の歴史を持つとされる長良川鵜飼をはじめ、13の市町村で鵜飼い漁がおこなわれています。

日本の鵜飼い漁には、鵜匠が手縄を用いる“繋ぎ鵜飼”や手縄を使用しない“放ち鵜飼”など、技術や方法の違いなど、意外とさまざまなタイプがあります。

また、中国の鵜飼い漁と見比べてみると、現在の日本の鵜飼い漁は野生のウミウを利用することや“観光鵜飼”であることなどの特徴もあります。

本発表では、発表者がこれまでおこなってきた日本と中国での調査結果を踏まえながら鵜飼を鑑賞するためのコツをご紹介します。



◆日 時: 2013年4月25日(木) 17:00-18:00

◆報告者: 卯田宗平(東大ASNET機構)

◆会 場: 東京大学 本郷キャンパス内 東洋文化研究所 1F ロビー

◆参加費: 無料(申し込みは不要です)

◆問い合わせ: 電話: 03-5841-5868 E-mail: asnet@asnet.u-tokyo.ac.jp

## 東文研・ASNET共催セミナー

東洋文化研究所とASNETは2010年5月より、毎週木曜日の夕方にセミナーを開催してきました。どなたでもご参加頂きます。皆様のお越しをお待ちしております。

詳しくはこちら: <http://www.asnet.u-tokyo.ac.jp/>

東大ASNET



東京大学  
日本・アジアに関する教育研究ネットワーク  
Network for Education and Research on Asia